

社会保険労務士からの三方一両得だより

平成28年2月20日 第77号

藤城清治美術館に行ってきました

以前からちょっと気になっていた、那須高原にある藤城清治(ふじしろせいじ)美術館に行ってきました。暖かい日が続いていたので道路には雪が全くなく、シーズンオフのためか道路も空いていて、快適にドライブすることができました。

藤城清治といっても若い方はご存じないかもしれません。天気予報のオープニングなどに使われていた、小人や動物などをモチーフにした影絵で有名な方です。ネットで調べていただければ、どこかで見たことがあるような画像が沢山できます。



これが“ケロヨン”のようです

森の中にあるこじんまりとした美術館ですが、展示方法がうまいのか随分とたくさんの作品を見る事ができます。影絵といっても後ろから光をあてているものばかりではなく、「影絵風」ということでしょうか。近づいてみると下書きのような線が見えたり、カッターの切り損ないのようなものがあつたりするのですが、制作手法が全く分かりません。影絵だけれどカラーだったり、とても不思議な世界を垣間見ることができました。

私は全く知らないのですが、ケロヨンというカエルの着ぐるみで一世を風靡した方でもあるようです。東日本大震災の被災地を題材にした作品があつたり、聖書、西遊記、風の又三郎など、様々な文学作品を取り入れており、ある特定の事にこだわるのではなく、その多様性に驚かされました。

つい最近まで体調を崩されていたようですが、また制作を再開されたそうで、新作が楽しみです。



チャペルのステンドグラスです



これは“苦土石灰”です

我が家の畑
農業をされているお客様から、サツマイモについて教えていただきました。
田く、「サツマイモは酸性土壌の方が良いです。土壌改良のために石灰を撒いたりするとうまく育ちませんよ」。
石灰の件、初耳でした。瘦せた土地の方が良いのは知っていました。が、酸性土壌の方が良いとは思いませんでした。まあ、酸性土壌とかアルカリ性土壌とか良く分からないのですが、なんとなくで春先に苦土石灰を撒いたりしています。が、ちょっと気を付けてみます。

◆働く女性の「出産後の就業」についての意識は？

政府が“一億総活躍社会”といったスローガンを掲げるなど、女性が社会で力を発揮できる仕組み作りがすすめられようとしています。しかし、今の働く女性自身の意見はなかなか聞こえてきません。では、出産後の女性の意識はどのようなものなのでしょうか。

エン・ジャパン株式会社が同社のサイト『エン転職 WOMAN』の利用者で、子育て中の女性を対象に行った「ワーママ(ワーキングマザー)の就業意識」調査(回答者 368 名)によると、「出産前と比較して、仕事への意欲はどう変化しましたか?」という質問に対して、「上がった(上がった、変わらず高い)」が 46%、「変わらない(普通)」が 36%となり、「下がった(下がった、変わらず低い)」と答えた割合は 18%となったそうです。

仕事への意欲が下がる人もいる一方、全体としては就業意欲を維持している女性が多いことがわかります。



職場復帰後の女性にとって、会社の職場環境は、仕事を続けていけるかいけないかを左右する大きな問題です。調査では「出産前と比較した仕事への意欲に職場環境で影響をおよぼしているものを教えてください」(複数回答可)との質問に対する回答として、意欲が上がった方と下がった方の結果を比較したところ、以下のような結果となったそうです。

- ・「周囲からの評価」(意欲が下がった方: 46%、上がった方: 35%)
- ・「職場の人間関係」(同: 42%、32%)
- ・「会社からの期待」(同: 35%、23%)

「責任のある仕事を任せてもらえない」「勤務時間が短いだけで評価が下がった」など、会社や周囲からの期待が低いことで意欲低下につながっている意見が目立っています。

調査では、反対に意欲が上がった影響として、「時間の配慮」や「産前と変わらない評価」をしてもらえたこと等の声があがっています。

労使共に負担とならないようコミュニケーションをとりながらの柔軟な対応や、今後は従来の働き方の見直しも求められてきそうです。